

校長室だより



真岡東中 校長室だより

No. 69

2018/10/26/Fri

ひがし野祭前日

榎本武揚、73歳で没 1908年

伊藤博文、ハルビンで狙撃され没 1909年

ベトナム共和国成立 1955年

東海村で原子力発電成功 1963年

チーム東…生徒・家庭・教職員へ向けての校長通信

高め合い、磨き合い、感動し合い、「愛」いっぱいの真岡東中に！

真岡東中学校HPでもご覧いただくことができます

保護者の皆様、地域の皆様、ぜひお越しください！

明日10/27(土)は待ちに待ったH=「ひがし野祭」 多くの皆様のご来校を心よりお待ちしております

◆ひがし野祭（真岡東中学校祭）◆ … 10月27日(土)

テーマ「喜怒哀楽～喜ぶために努力をし、愛をもって楽しめ～」

8：30～ オープニングセレモニー（体育館）

9：10～ 学芸発表（体育館）

(1) 英語スピーチ (2) 少年の主張 (3) 合唱コンクール

(4) 特設合唱部・吹奏楽部による演奏

12：00～ 展示発表（各教室）

12：30～ PTAバザー（武道館）

12：50～ 発表活動（体育館）

15：00～ クロージングセレモニー（体育館）

いよいよ明日は「ひがし野祭」です。生徒会が決めた今年のテーマの中に「喜怒哀楽」ならぬ「喜怒哀楽」という造語が入っています。その意味については当日のプログラムにて再確認を！

生徒たちの成長した姿をぜひ多くの皆様にご覧いただきたいです。お待ちしております。

3年生の「真岡木綿会館」による出前授業…10/22(月)

3年生の技術・家庭科の授業で、真岡木綿会館による出前授業が行われました。これは「栽培に関する技術」のまとめとして、栽培した綿花から糸を紡ぐ体験を行うにあたり、地域の伝統技術の継承を目的に、講師を真岡木綿会館にお願いして実現した授業です。

真岡木綿会館から2名の栃木県伝統工芸士さん＝花井恵子さん、中山美枝子さんが講師として3年生の授業を行ってくださいました。

中学校では、地域資源の活用とその技術の継承、地域づくりを担う人材の育成を行うことはとても大切であると考えており、今後も継続していきたいと考えています。



10/15(月)～26(金)

関本雅一先生(技術・家庭科)の教育実習が終わる！

宇都宮大学4年生の関本雅一先生が、本校での教育実習を無事に終わりました。教科は技術・家庭科でほぼ全学級の授業をし、指導にあたりました。1年4組担任としても指導していただきました。ありがとうございました。



保護者の皆様、応援ありがとうございました！

「郡市駅伝競走大会」で感動の走りを見せ 見事に女子5位、男子6位の上位入賞を果たす！



10/23(火)に芳賀郡市駅伝競走大会が井頭公園で行われ、女子チームが5位入賞、男子チームが6位入賞を果たしました。特に女子Aチームは選手全員が1年生という若いチームながら、堂々の上位入賞の走りは素晴らしかったです。

また、男子でエースが集う1区を走った永島陽介さん(3-2)は、区間賞を獲得しました。

駅伝は「団体戦・チーム戦」と言われますが、私もそう思っています。

選手自身も、練習や大会を通してそれを実感したようです。また、駅伝を通して学んだことや成長したことが、選手の感想を読んでも本当によく分かります。

「郡市駅伝競走大会」に参加して (抜粋) …①

駅伝をやって協力することの大切さが分かりました。最初の頃は少し走っただけで疲れたり止めたりしていたけど、だんだん練習していくうちにメンタルが強くなるし体力もついてきて、サッカーの試合でもすごく役に立ちました。みんなが走っているのを見て頑張っているな——と思い、僕も頑張れたのすごくうれしく思います。朝早くから練習していたので、先生にも親にもお世話をしていただき、その分、頑張るという思いが強くなりました。これからもどんどん走って、メンタルを強くし体力もつけて、2年生になったら選手として走れるように頑張りたいです。この体験をさせてもらって、すごくいいことを学びました。(1-1)

ラスト200～300mの所で秋山先生に「ラストあげろ！」と声をかけていただき、最後の坂道で足が動かなくなるまで動かし、腕を振り、走り抜き、自己ベスト更新。目標としていた「10分を切る」ことができ、今までのキツイ練習が本番で自分の力を出し切るための強化に役立てることができた。最後の追い上げはしっかり腕を振るという三田先生、秋山先生のアドバイスを忘れずに来年につなげたい。「辛い時こそ自分を追い込む」ことを駅伝のみでなく、所属しているサッカー部でも、一試合全てを走り抜けるように心に留めておく。応援してくださった先生や仲間感謝の気持ちを持って来年こそは県大会！と目標に向けて頑張っていきたい。(1-2)

駅伝練習が始まると不安や嫌な気持ちがたくさんありました。でも、こうしてたくさんの仲間たちと気持ちを一つにして本気になれたことは、先生方のおかげだと思っています。朝早くから校庭にラインを引き、ストップウォッチをたくさん持ち、タイムやラップを測ってくださり、後半バテてきたら応援してくださったりと、たくさんのサポートをしていただきました。5区の最後の直線を走っている時、たくさんの人に「頑張れ」と言われた時、そして、ゴールし仲間と会って喜び合った時、その感動は忘れません。今まで頑張って練習をやったこれで良かったと思いました。(2-1)